

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

入江、千賀、山本、西

2. 山域／ルート

南紀 滝本北谷

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2022年 4月 16日>

4月15日(金) 21時頃神戸出発→25時頃泊適地 仮眠

4月16日(土) 8:30 滝本集落→9:25 越前谷出合→11:30 ケヤキ原谷→屏風滝→13:50 堰堤→16:10 駐車場

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

朝をゆっくりめでスタートしたため、予定より1時間30分遅れの遡行開始となるが、行動時間はほぼ予定通り7時間半で終える。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

①12:15頃、最後の滝(比丘尼の滝)手前の巨岩帯で、Aが大岩を超えようとハイステップで岩に乗り込むも滑り落ち、足元にあった岩で肋骨を強打する。痛みはあるもしばらく休むと動くことができ、そのまま予定通り遡行を続けた。翌日の沢登りは念のため中止とした。

→周囲には簡単に移動できるルートがあるも、あえて大岩にチャレンジしたが、ハイステップで置いた場所が黒くぬめっていた。チャレンジする時は万が一の時に後方でサポート依頼する。落ちたときに当たる岩がないか確認してからチャレンジする。

②AとBが滝の落口のそばまで行き、セルフビレイをとって写真を撮るためにできるだけ落口へ近づいたが、Bがセルフビレイの長さを延長するためにスリングをさわっている最中に、Bのスリングに掛けていたAのセルフビレイを解除してしまう。すぐにBが気づき、Aがセルフビレイにテンションをかける前であったため、すぐに戻し事なきを得た。

→重大事故に繋がることをよく考え、慎重に最新の注意を払い操作する。2重でバックアップをとる。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

約1年前にも同じルートに行き今回は2回目であった。昨年の記憶とルート上にはロープ等がたくさん設置されているおかげで、迷うことなく遡行ができた。南紀の沢特有のすばらしいナメと、迫力のある美しい大滝が連続する素晴らしいルートでした。

